

地域おこし協力隊 たむら わたる 田村 渉の ツキイチ活動日誌 ～Vol.2～

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。1カ月に1度(=ツキイチ)、日頃の活動の様子を皆さんにお伝えします。



川根本町のひと夏を過ごして気づいた点が、朝晩の過ごしやすさです。過去10年のデータによると、熱帯夜の日数は東京315日、静岡176日、川根本町は何と0日でした。

この環境を活かして、天気の良い日は徒歩通勤を始めました。歩いていると地元のみなさん、中学生、高校生からも挨拶をいただきます。こういった光景は都会ではまずありえなく、すばらしいことだと感じながら歩いております。



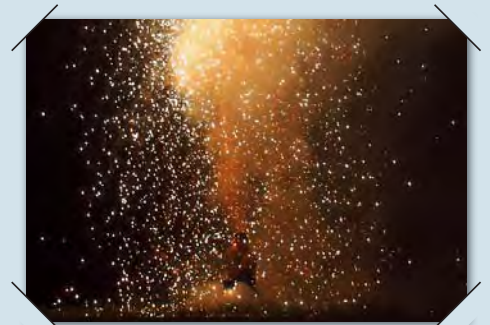
「木の駅かわね」山の日記念イベントへ参加

伐倒作業見学、玉切り作業体験、道具箱、巣箱、貯金箱の木工芸品教室の3部構成で行われました。

写真は伐倒作業体験の様子で、倒れた木の切り株を見えています。辺材(白いところ)で根からの水を吸い上げ、心材(赤いところ)は活動を停止して眠っている状態です。これは木が最小限の活動で済ます工夫で、1年で年輪をひとつずつ増やして大きくなり、これによって何十年も生きていくことができます。

川根本町夏祭りウィーク

川根本町はお祭りがたくさんありますね。8月だけで6回ものお祭りを訪れました。特に手筒花火が最も印象深く、静岡県出身ですが初めて見ました。本町に限らず、全国の田舎のお祭りでは、人口減少、担い手の不足に伴い、お祭り存続問題が起きています。国指定の重要文化財のお祭りでも取りやめてしまったものがあるようです。お祭りは地域に活力を与える点においても重要なものですので、何とか続けていきたいですね。



寸又峡と接岨峡を散策

寸又峡プロムナードは大人気ですね。夏休みが終わった頃の平日でしたが、チンダル湖にかかる夢の吊橋には、多くのお客さんがいらっしゃいました。ただ、夢の吊橋以外でお客さんに出会うことがほとんどなく、良い所であっても、なかなか足を運んでもらえないことを実感しました。トーマスフェアも同じことが言え、ここでちょっとした工夫をするだけで、変わってくる可能性がありますので、何か貢献できる工夫をしていきたいです。

今月のまとめ

8月は、休日でもイベントやオリンピックなどが重なり、寝不足の連続で体は大変でしたが、楽しい1カ月でした。イベントでは多くの方と知り合ったり、普段役場で話をしない方とも話ができて、とても良い機会ですので、今後も積極的に参加していきます。現在、木を使った企画をしていて、関連業者への訪問などを行っています。次回はその内容を少しご紹介したいと思います。

たむら・わたる / 焼津市出身。首都圏の地図製作会社にて地図や観光情報データベースの開発業務などを担当。その後、北海道にて自然体験プログラムやエコツアー、環境保全活動などの企画・運用の研修を経験。趣味は登山・スキー・旅行・将棋・麻雀。

ブログも更新中!

川根本町地域おこし協力隊

検索

発行所：川根本町 編集：情報政策課 情報政策室 電話：0554-7562222
住所：〒4228-1031 静岡県焼津市川根本町上長尾622-1
広報かわねほんちゅう、再印刷を使用しています。

広報かわねほんちゅうは、おたよりなどをお待ちしています。
町に関することや、広報に関するお問い合わせも気軽にどうぞ。
FAX 0554-22325 役場情報政策課 情報政策室 0554-22325

